

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャカイアシホウジンイルマトウプアケシカイ
法人名	社会福祉法人人間東部福祉会
フリガナ	イルマトウプヨシノサト
事業所名	人間東部みよしの里
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	障害者支援施設
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	35.7 人

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 移乗支援ロボット「移乗です」 1台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	1人あたり業務時間(G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	3 人	31 件	372 件	15 分	31 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		#DIV/0!
		31 件	372 件	15 分	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

1日1件の入浴に際して移乗が必要であるため、ひと月あたり31件で算出。

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

脱衣を行い、移乗時に2人がかりで利用者を抱える。もう1人がシャワーチェアを差し込み対応するため、移乗する際は3人目の職員を呼ぶ必要がある。この間の平均処理時間がおよそ15分。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	1人あたり業務時間(G×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	31 件	372 件	10 分	31 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		#DIV/0!
		31 件	372 件	10 分	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

1日1件の入浴に際して移乗が必要であるため、ひと月あたり31件で算出。

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

入浴の場面で移乗ロボットからシャワーチェアへ移乗を行う。これまでは移乗時に3人目の職員を呼ぶ必要があったが、ロボットを使用することによりこの時間が短縮されたため平均処理時間が5分間短縮された。

年間業務時間数想定削減率(%)

55.6%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

導入前は、車椅子から入浴チェア間への移乗時に、利用者を抱える職員2人とシャワーチェアを支える職員1人(計3人)での対応が必要であった。機器を活用することで抱える職員の負担が軽減されるため、2人での対応が可能になり職員を呼ぶ時間の削減ができた。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

移乗動作がスムーズになる事により、ご利用者の身体的負担の軽減と職員の腰痛対策に繋がる。

(5)今後の課題

使用したい場合でも拒否により活用できないケースがあるため、ご本人の理解や協力が得られるのがポイントになる。

(6)気づき等について

ご利用者の状態により、使用場面に気を付けないとADLの低下に繋がってしまう可能性もあるため、適切に使用していきたい。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。